

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|----------------------------|--------|---|----------------|---------|
| 1 | 1月 | 1時台 | 製造業 (化学) | 10~29人 | 樹脂を混合する機械の清掃作業を行っていた。材料を押し込むための錘を上部に上げて、隙間をつくり、身を乗り出して作業をしていたところ、錘が急落下し頭部と腕を挟まれたもの。錘の固定は、2つあるストッパーのうち1つが使用されていなかった。 | はさまれ・ 巻き込まれ | 混合機、粉碎機 |
| 2 | 1月 | 11時台 | 接客娯楽業 (その他の接客娯楽) | 50~99人 | 敷地内の山林の急斜面に自生する高さ約20メートル、直径約0.4メートルの榎の木をチェーンソーで伐倒するために、受け口切りを終えて、追い口切りをしていたところ、木が縦方向に渡って裂け、木が一旦跳ね上がった後に地上に落下した。この時、山側で作業をしていた被災者の頭部に木が直撃し、被災者は谷川に転がり落ちたもの。 | 激突され | 立木等 |
| 3 | 2月 | 17時台 | 商業 (その他の商業) | 10~29人 | ドラグショベルのアーム(重量約4トン)をドラグショベルを使用してトラックに積み込む作業を行っていたところ、アームがバランスを崩してトラックの荷台上で横転し、荷台にいた被災者がアームと荷台の間に頭部を挟まれたもの。 | 激突され | 荷姿のもの |
| 4 | 2月 | 6時台 | 建設業 (その他の建設) | 1~9人 | 大型ショッピングセンターのテナント工事において電飾等の工事を行っていた。竣工が迫っており、明け方まで作業を行いその後、使用した高所作業車を返却するため午前4時に現場を出発した。途中、戸田市内の道路脇に停車していた10トントラックに激突、助手席に乗っていた被災者が死亡したもの。運転していた会社の代表者は、軽傷であった。 | 交通事故 (道路) | 高所作業車 |
| 5 | 3月 | 7時台 | 清掃・と畜業 (その他の清掃・ と畜業) | 30~49人 | コンテナトラック(最大積載荷重24トン)の後進誘導を2名で行っていたところ、この2名の誘導者で「ストップ」と声で停止の合図をしたが、運転者に届かず、そのまま後進したために、コンテナトラックの後方にいたうちの1人がコンテナトラックと架台との間に挟まれ、2日後に死亡したもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | トラック |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生日 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|----------------|--------|---|----------------|---------------|
| 6 | 3月 | 5時台 | 商業 (その他の卸売) | 30～49人 | 商品を得意先に納品するため、自社所有のトラック(最大積載荷重4トン)にて国道50号を走行中、交差点で信号待ちをしていたトラック(最大積載荷重10トン)の後部に追突したものの。 | 交通事故 (道路) | トラック |
| 7 | 3月 | 8時台 | 陸上貨物 運送事業 | 30～49人 | 被災者は配送業務及び事務管理業務に従事していたが、自宅で就寝中に急性心筋梗塞を発症し、死亡した。なお、発症前1カ月間の時間外労働時間は120時間を超えていた。 | その他 | その他 |
| 8 | 3月 | 15時台 | 建設業 (建築) | 1～9人 | 建屋の屋上に設置されているベルトコンベアの点検用作業床を修理する工事において、点検台周囲に設けられた足場板の上を歩いたところ、足場板が結束されておらず、足場板とともに約22メートル下の地上に墜落したものの。 | 墜落・転落 | 足場 |
| 9 | 3月 | 14時台 | 商業 (その他の卸売) | 1～9人 | 事業場(派遣先)において、座りながらスクラップ金属の選別作業を行っていたところ、後方を後進してきた重機(先端にハサミ型の解体用アタッチメントを取り付けたもの)と接触し、両下肢をキャタピラに巻き込まれたもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | その他の 建設機械等 |
| 10 | 3月 | 7時台 | 製造業 (製材) | 1～9人 | 被災者は、クレーン付きの一人乗り林内作業車を運転し林道を上り、集材現場に向かっていた。先行して現場に向かっていた同僚が大きな音とともに白煙が上がっているのに気付き、戻って確認したところ、被災者の運転する林内作業車が横転し、運転席で意識を失っているところを発見したものの。 | 転倒 | その他の 動力運搬機 |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|---------------------|--------|--|--------------|----------------|
| 11 | 6月 | 9時台 | 清掃・と畜 (ビルメンテナンス) | 1～9人 | ビルの窓ガラス清掃のためブランコ型の板に乗り、5階付近で作業を行っていたところ、ブランコごと地上に墜落し、約3週間後に死亡した。ブランコをぶら下げるメインロープ、補助ロープは屋上にある柵の根元に固定していたが、柵ごと外れたもの。 | 墜落・転落 | 建築物、構築物 |
| 12 | 6月 | 5時台 | 商業 (小売業) | 50～99人 | バイクでの配達を終え、帰社のため県道を走行中、緩い右カーブのところで、道路左側のコンクリート塀に激突したものの。 | 交通事故 (道路) | バイク |
| 13 | 6月 | 16時台 | 清掃・と畜 (産業廃棄物) | 10～29人 | 鉄スクラップ工場において、切断加工時に切断された金属片が切断機と搬送コンベアの間で度々目詰まりを起こすことから、上司の指示により、切断機の裏に確認に行った。その後、切断機の裏から被災者が頬等から出血しながら出てきたので、救急搬送を行った。翌日の朝、顔面骨骨折、出血性ショックにより死亡したものの。 | 激突され | その他の 一般動力機械 |
| 14 | 6月 | 11時台 | 建設業 (建築) | 1～9人 | 木造2階建て家屋の解体工事のため2階の屋根に上がり、野地板の撤去作業を行っていたところ、約6メートル下の地面に墜落したものの。被災者は、ヘルメット、安全帯は使用していなかった。 | 墜落・転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 15 | 6月 | 3時台 | その他 (その他) | 1～9人 | 被災者は早朝自宅で心配停止の状態で見つかり、虚血性心疾患により死亡した。建築確認、検査業務を行う事業所の所長であったが、発症前1ヶ月間の時間外労働時間は100時間を超えていた。 | その他 | その他 |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|------------------|--------|---|----------------|----------------|
| 16 | 7月 | 1時台 | 陸上貨物 運送事業 | 10～29人 | 高速道路出口付近において、渋滞のために停止していた大型トラック(積載荷重10トン)に被災者の運転する大型トラック(積載荷重13トン)が追突し、玉突き状態となり、3台の大型トラックを巻き込んだ。追突した被災者の運転する車両は損傷が激しく死亡したもの。また、他の3台の車両の運転手3名のうち2名が軽傷を負った。 | 交通事故 (道路) | トラック |
| 17 | 7月 | 10時台 | 保健衛生 (社会福祉) | 30～49人 | 被災者の運転する軽トラックで利用者を同乗させ、段ボール回収先に向かう途中、信号機及び一時停止表示のない交差点で軽乗用車と出会い頭に衝突したもの。同乗者と相手方もけがをした。 | 交通事故 (道路) | 乗用車、バス、 バイク |
| 18 | 7月 | 7時台 | 清掃・と畜 (産業廃棄物) | 10～29人 | 廃材置き場において、車両系建設機械にて廃棄物をトラックに積み込んでいた際にトラックの荷台で作業していた労働者が高さ約1.9メートルの高さから墜落したもの。被災者はヘルメットを着用していなかった。 | 墜落・転落 | トラック |
| 19 | 7月 | 16時台 | 製造業 (機械) | 10～29人 | 顧客先において、600トン門型銑割機(鋳物スクラップを砕く機械)の設置作業中、ステージ(高さ約4メートル)の上に設置された機械の油圧ユニットのボルトをレンチを使用して締め付けを行っていた際にレンチがボルトから外れ、その反動でステージから墜落したもの。被災者はヘルメットを着用していなかった。 | 墜落・転落 | 作業床、歩み板 |
| 20 | 7月 | 9時台 | 製造業 (非鉄金属) | 10～29人 | ダイカストマシンから警告音が発生したため、同僚が当該機械を見に行ったところ、頭部から血を流し機械の前で倒れている被災者を発見したもの。ダイカストマシンの金型の間には被災者が被っていたと思われる帽子が挟まっていた。 | はさまれ・ 巻き込まれ | 射出成型機 |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|-------------|--------|---|-----------------|-------|
| 21 | 8月 | 16時台 | 建設業 (建築) | 10~29人 | 物流センター新築工事現場において、高所作業車を使用して、床面からの高さが約6メートルの箇所にある鉄骨の錆止め塗装等を行っていた被災者が、鉄骨梁と高所作業車の手すりとの間に頸部をはさまれた状態で発見されたもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | 高所作業車 |
| 22 | 8月 | 14時台 | 製造業 (機械) | 1~9人 | 出張先において、閉鎖した工場にあった電線を運び出すため、炎天下で電線を切断する作業を3人で行っていたところ、1人が倒れた。すぐに救急搬送し病院で体温を測ったが、45度を超過しており、熱中症により死亡したもの。 | 高温・低温の物 との接触 | 環境等 |
| 23 | 8月 | 10時台 | 建設業 (建築) | 10~29人 | 家屋解体工事現場において、工事で発生した廃材の搬出作業を6人で行っていた。10時の休憩の後、作業員の1人の足元にふらつきがあったため、現場の木陰で休ませた。30分後、当該作業が終わり休んでいた作業員も一緒に会社に戻ることになりトラックで向かっていたが、その途中で容態が悪くなり、救急車で病院へ搬送したが、翌日、熱中症が原因で死亡したもの。 | 高温・低温の物 との接触 | 環境等 |
| 24 | 8月 | 23時台 | 製造業 (印刷) | 50~99人 | 印刷作業に使用する輪転機の原料紙供給部にてロール紙の装着作業を単独で行っていたが、ロール紙を保持するアームの付け根部分と他のアームに接続する板との間に頭部を挟まれた状態で発見されたもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | 印刷用機械 |
| 25 | 9月 | 15時台 | 林業 | 1~9人 | 5名の労働者で山林内の樹木（スギ）の伐木及び集材作業を行っていた。被災者は他の者から離れた場所でチェーンソーによる伐木作業を一人で行っていた。午後3時頃、チェーンソーの音が全く聞こえないことに不審に思った同僚が様子を見に行ったところ、被災者は頭部を負傷し倒れていたもの。倒れてきた木に頭部をぶつけて被災したと推定される。 | 飛来、落下 | 立木等 |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生日 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|-----------------|----------|---|----------------|----------------|
| 26 | 9月 | 8時台 | 陸上貨物 運送事業 | 10～29人 | 配送先において、トラックの荷台上でフォークリフトから荷物を降ろしていた。その後、荷物が降ろし終わりフォークリフトに乗ろうとした際にマストと車体の間をくぐり運転席に乗り込もうとしたため、ティルトレバーに当たり、エンジンのかかったままのフォークリフトのマストが後傾し、マストと車体の間に頭部を挟まれたもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | フォークリフト |
| 27 | 9月 | 2時台 | 陸上貨物 運送事業 | 10～29人 | 被災者の運転する4トントラックが、対向車線側に停車していた大型トレーラー（無人）に正面衝突し、頭部を強打したもの。 | 交通事故 （道路） | トラック |
| 28 | 9月 | 15時台 | 建設業 （その他の建設） | 1～9人 | 足場に使用した部材（単管等）を現場で3トントラックに積み込んでいた。部材は12～16本を1束として番線結束し、トラックの荷台に積み重ねていたが、何らかの理由により3束（計46本、約600キログラム）が崩れ、別の部材を取ろうとして近くで屈んでいた被災者を直撃したもの。 | 飛来、落下 | 荷姿のもの |
| 29 | 10月 | 11時台 | 製造業 （紙加工品） | 100～299人 | 段ボールを加工する機械において、安全柵を開けてその内部に立ち入り、部品の交換等の段取り作業を行っていた。その後、同僚が安全柵の内部に人はいないものと判断し、安全柵を閉め、起動ボタンを押したところ、段取り作業をしていた被災者が機械に首を挟まれたもの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | その他の一般 動力機械 |
| 30 | 10月 | 5時台 | 製造業 （化学） | 100～299人 | 業務命令により、前日に会社から自宅に持ち帰った書類を東京都内の事業場にバイクで届ける途中に、対向車線を右折して脇道に入ろうとした乗用車と衝突した。 | 交通事故 （道路） | 乗用車、バス、 バイク |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|--------------|--------|---|--------------|----------------|
| 31 | 10月 | 13時台 | 建設業 (土木) | 1~9人 | 道路建設工事において、被災者はボックスカルバート内の型枠支保工に設置された作業床でボックスカルバートの天井を手工具を使用してケレン作業を行っていたところ、作業床の端から後ろ向きで約8メートル墜落し、2日後に死亡した。被災者は、作業床の端にあった固定されていない水平材と共に墜落している。 | 墜落・転落 | 作業床、歩み板 |
| 32 | 10月 | 16時台 | その他 (警備) | 30~49人 | ガス管の敷設工事現場において、誘導員として一般車両の誘導を行っていた被災者が、後退してきたドラグショベルの履帯にひかれたもの。 | 激突され | 掘削用機械 |
| 33 | 10月 | 10時台 | 陸上貨物 運送事業 | 10~29人 | 高速道路において、交通事故により前方の大型トラックが減速・停車した。その直後に被災者の運転する大型トラックが追突し、ハンドルに首を圧迫され死亡したもの。追突されたトラックの運転手も脊髄損傷の重傷を負った。 | 交通事故 (道路) | トラック |
| 34 | 10月 | 1時台 | 商業 (新聞販売) | 30~49人 | 新聞配達のため自転車で市道を走行していた被災者が、新聞配達中の他社の軽ワゴン車に追突されたもの。 | 交通事故 (道路) | 乗用車、バス、 バイク |
| 35 | 10月 | 14時台 | 建設業 (建築) | 1~9人 | 設備工事において、工場の天井から吊られたダクトの撤去のため高所作業車を使用して、吊ボルトを携帯用の高速カッターで切断する際に、何らかの理由で約6メートル下に墜落し頭部を強打した。高所作業車から天井に設置してあるケーブルラックに乗り移った後に墜落しているが安全帯は使用していなかった。 | 墜落・転落 | 作業床、歩み板 |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生日 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|------------------|--------|---|--------------|----------------|
| 36 | 10月 | 8時台 | 建設業 (建築) | 1~9人 | 個人宅の車庫の改修工事のため、屋根に乗り網入り塩化ビニル製の波板を取り外そうとしたところ、踏み抜いてしまい約3メートル下の床に墜落した。 | 墜落・転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 37 | 10月 | 11時台 | 製造業 (化学) | 10~29人 | 得意先の工場内で乾燥槽内にある製品の仕上がり具合を確認していたところ、側方きた自動搬送機と乾燥工程中のメッキ用ハンガーとの間に頭部を挟まれた。 | はさまれ・巻き込まれ | クレーン |
| 38 | 11月 | 9時台 | 建設業 (建築) | 1~9人 | 木造工事現場において、階段状になっている東面の足場を通過していたところ、バランスを崩し、足場の手すりとの間から約4メートル下の地面に墜落した。足場に中さん等は取り付けられていなかった。 | 墜落・転落 | 足場 |
| 39 | 11月 | 23時台 | 商業 (卸売) | 10~29人 | 得意先に向かうため高速道路の追越し車線をワンボックスカーで走行中、追越し車線に故障で停車していたトラックに追突して死亡した。トラックの運転手は車外に避難していて無事であったが、被災者の後続を走行していた乗用車も巻き込まれ、男女2人が軽傷を負った。 | 交通事故 (道路) | 乗用車、バス、バイク |
| 40 | 11月 | 10時台 | 清掃・と畜 (産業廃棄物) | 30~49人 | 同僚と2人でトラックを使用し資源ごみの回収作業を行っていた。被災者が収集場所での作業を終えて次の収集先へむかって歩いていたところ、同僚が運転するトラックに巻き込まれた。 | 交通事故 (道路) | トラック |

平成25年 死亡災害発生事例

確定

| 番号 | 発生月 | 発生時間帯 | 業種 | 事業場規模 | 災害発生のあらまし | 事故の型 | 起因物 |
|----|-----|-------|-------------|--------|---|----------------|--------------------|
| 41 | 12月 | 23時台 | 製造業 (印刷) | 10～29人 | 夜勤作業のため20時30分から同僚と共にオフセット印刷機で製品の両面印刷を行っていた。片面印刷終了後、被災者が同僚にもう片面を印刷するよう合図を行い、同僚が始動の合図をした後、約20メートル先にある印刷機のスイッチを入れた。すると大きな異音が生じたため確認したところ、印刷機の一部に挟まれている被災者を発見したものの。 | はさまれ・ 巻き込まれ | 印刷用機械 |
| 42 | 12月 | 15時台 | 商業 (卸売) | 10～29人 | 資源回収用機械の攪拌機に通じるコンベヤーの端部に残った紙片を取り除くため動いているコンベヤーに乗って最上部まで上り、一旦コンベヤーが停止、紙片を拾っていたところ、コンベヤーが動き出しホッパーに墜落し回転している攪拌機に接触した。 | 激突され | その他の一般 動力機械 |
| 43 | 12月 | 16時台 | 建設業 (土木) | 10～29人 | 高速道路において、車線規制解除に伴う規制標識撤去作業のため路肩に作業用車両2台で停車していたところ、走行してきた一般車両(3トントラック)が後方の1台に追突した。その拍子に車両の助手席から降りた直後の作業者が自車と側壁に挟まれ、さらに高架下へ墜落した。また、作業車両2台の運転手も軽傷を負った。 | 交通事故 (道路) | トラック |
| 44 | 12月 | 7時台 | 商業 (小売業) | 1～9人 | 得意先に向かうため高速道路の走行車線を2トントラックで走行中、前方の大型トラックに追突し、その弾みで追い越し車線を越えて中央分離帯に激突した。この事故で助手席に乗っていた作業員が死亡、運転手も首を負傷した。 | 交通事故 (道路) | トラック |
| 45 | 12月 | 13時台 | 建設業 (建築) | 1～9人 | 工場の屋根改修工事現場において、傾斜のある折板屋根を高圧洗浄機を使用して作業中に屋根端部から約15メートル下に墜落した。手すりや親綱の設置はなかった。 | 墜落・転落 | 屋根、はり、も や、けた、合掌 |